

第 7 回 役 員 会 議 事 要 録

- 1 日 時 平成 22 年 5 月 31 日 (月) 13:38～:15:10
- 2 場 所 本部棟 2 階 「学長室」
- 3 出席者 4 人 (田中雄三学長, 西園芳信理事, 山下一夫理事, 清水勇行理事)

4 議 題

(1) 平成 22 年度予算執行調査「教員養成系大学」について

企画総務課長から, 資料 1 「予算執行調査「教員養成系大学」調査票」に基づき, 財務省への回答原案について説明があり, 審議の結果, 以下の設問項目において字句を一部修正することとした。

○「1. 入学定員数等－③平成 23 年度以降の入学定員見直しの検討状況」

⇒ 大学院, 附属学校に係る説明, 教育研究組織の再編に関する箇所を削除

○「4. 他大学との連携－(2) 他の大学と連携に関する取組」

⇒ 私立大学との包括的協定について, 四国大学を含めた 5 大学に修正

○「7. その他－教育の質の向上のために実施している取組」

⇒ 平成 17 年度から, 「コア・カリキュラム」を導入し, 教育実践力の向上に向けた取組を行っている旨, 加筆

⇒ 「本学の教育等に関するアンケート」に関する記述で, 卒業生を対象とした調査内容については「教育現場における有用性」を削除し, 教育委員会, 学校園長を対象とした調査内容については, 「本学の教育について良いと思われる点」を加筆

なお, 上記の修正と併せて, 設問項目「3. 教員数－③小学校教諭免許状に係る教科専門科目担当教員のうち常勤教員」の数の算出根拠を確認することとした。

(2) 平成 22 年度「教員の資質能力の向上に係る基礎的調査」実施計画書について

山下理事及び企画総務課から, 資料 2 「「教員の資質能力の向上に係る基礎的調査」実施計画書」に基づき, 高度学校教育実践専攻(教職大学院)内で検討の上, 小野瀬専攻長から提出のあった申請書案について説明があり, 審議の結果, 原案どおり了承された。

(3) その他

学長から, 国際協力コース及び現代教育課題総合コースにおける教員の配置について, 以下のとおり説明があった。

- 国際協力コースの服部教授（平成22年3月末・定年退職）の後任として、現代教育課題総合コースの近森教授（教員教育国際協力センター所長）を異動させたいと考えている。
- 近森教授の異動については、現代教育課題総合コースの小西コース長及び近森教授から内諾を得ている。
- 現代教育課題総合コースについては、今年度末で退職される西村教授の後任を不補充とし、近森教授の異動に伴う後任は、当該コースの准教授からの昇任人事で対応したいと考えている。

以上の説明の後、審議の結果、教員定員の配置計画について、6月9日開催の第3回総務委員会及び第3回教育研究評議会に上程することとした。

5 報告事項

(1) 日・韓教育大学学等懇談会について

山下理事から、資料3「日・韓教育大学学長懇談会について」に基づき、当番大学である北海道教育大学から本懇談会開催にあたっての確認事項について照会があり、本学としては、当該大学の趣旨に賛同する旨、報告があった。

(2) その他

西園理事から、5月29日（土）、30日（日）に高知大学において開催された「第58回中国・四国地区大学教育研究会及び評議員会」について概要報告があった。また、来年度、本学が当番大学として本研究会等を開催（平成23年5月28日（土）、29日（日））することに伴い、学内に実施に係るプロジェクトチームを組織する旨、併せて説明があった。